

創立 1980年10月8日

Rotary  ROTARY CLUB OF **SAKAI NORTH**

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁目1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グレル 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 北野 治義

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/kitano/>

E-mail : [kitano@rid2640g.com](mailto:kitano@rid2640g.com)

会長：池永隆昭 幹事：鶴 啓之 広報委員長：田口 隆 編集者：那須宗弘

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1真実かどうか 2みんなに公平か 3好意と友情を深めるか 4みんなのためになるかどうか

**本日の例会**

2026年4月3日(金)第2115回

卓話 「氏神と氏子」

卓話者 会員 三上 尚嘉

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間・

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(4月度)

城岡陽志会員

杉山昌子様 三上美江様 池永智恵子様

○結婚記念祝い(4月度)

北村勝博会員 嶽盛和三会員 笹山悦夫会員

○皆出席表彰(4月度)

該当者なし

**次回の例会**

2026年4月10日(金)第2116回

ファイヤーサイドミーティング

開会 18時00分～

場所： 割烹 魚忠(うおちゅう)

堺区一条通9-21(南海堺東駅より950m)

\* 同日の通常例会は上記の夜間例会へ変更いたします。

前回までの例会

2026年3月29日(日)第2114回

「春の親睦家族会」

旧堺港ウォーターフロントの魅力再発見  
(クルーズとウォーキング)

9:45 南海本線堺駅前(西口側ロータリー)

<3月29日(日)の出席報告>

会員数	31名
出席会員	11名
欠席会員	20名
ご家族	12名
ゲスト	1名
ピジター	0名

2026年3月13日(金)第2113回

卓話 「保護者と離れて暮らす子どもたち」

卓話者 児童養護施設 清心寮

副施設長 横山 泰直 様

紹介者 社会奉仕委員長 中田 学

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間・

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(3月度)

北側一雄会員 古川永里子会員

北村はる奈様 吉村佐代子様

○結婚記念祝い(3月度)

奥原史成会員

○皆出席表彰(3月度)

笹山悦夫会員(第13回)

<3月13日(金)の出席報告>

会員数	31名
出席会員	20名
欠席会員	11名
準会員	0名
ゲスト	1名
ピジター	0名



2025-26年度 国際ロータリーのテーマ 「よいことのために手を取りあおう」

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ (イタリア / ラグーザRC)

## 卓 話 (3月13日)

「保護者と離れて暮らす子どもたち」

児童養護施設 清心寮

副施設長 横山 泰直 様

紹介者 社会奉仕委員長 中田 学



この度は、児童養護施設について話をさせてもらえる機会を作っていただきありがとうございます。児童養護施設は、全国で610施設あります。そこで生活する児童は、何らかの事情で保護者と一緒に暮らせていません。一緒に暮らせなくなる理由はいくつかありますが、ひとつ目に保護者の死亡事例があります。最近では、自然災害による突然の死亡があります。実際に東日本大震災の時には、大阪の施設まで児童の受入れが可能かとの問い合わせがありました。次に行方不明事例です。保護者にも何らかの事情があったと思われるのですが、児童にとっては保護者がある日突然に帰って来なくなるわけです。小学生の時に「お母さん、ちょっと買い物に行ってくる。」と言い残し行方不明になった事例の児童は、高校生になっても「俺のおかん、いつまで買いもんにとんねん。」と冗談交じりで笑っていましたが、彼に残された最後の言葉がそうなので彼の言う通りです。保護者の死亡事例は大変悲しいことですが、保護者がどうなったのかははっきりしています。その一方で行方不明事例は、どこかで生きているのか、それともすでに亡くなっているのか、何もかもがわからないという状況です。このような状況は、児童を不安定にさせる要因になると長年児童と関わっていて感じることです。次に、病気・入院事例では精神疾患を抱えて、病気と付き合いながら生活される保護者が増えてきたと感じています。不適切な養育があるわけではありませんが、児童が保護者の世話をするヤンケアラーになることが危惧されます。その他、保護者が法を犯してしまい逮捕・拘禁されて親子分離となる事例は珍しくはありません。事件が連日報道されるような場合は、施設ではテレビ、新聞に大変気を遣うこととなります。以上の事例は一時的にでも保護者が養育できない場合ですが、保護者がいて養育できるのに離れなければならないのが虐待事例です。ネグレ

クト（放任）や身体的虐待は、痛ましい事例が報道されるので皆さんご存知のことと思います。心理的虐待は言葉による暴力や兄弟間差別がそれにあたります。また、親の自死を目の当たりにするなど、親の自死に巻き込まれる事例もこれに含まれます。性的虐待は同性同士の事例も多いので、男児が被害にあうこともあります。以上のように、保護者はいるけれどその環境が不適切だと一緒に暮らすことができなくなります。

このように保護者と暮らせなくなった児童のことを「社会的養護を要する児童」と言います。現在の日本では、社会的養護を要する児童は、児童養護施設や乳児院のような児童福祉施設で暮らすか、里親宅で暮らすかのいずれかに生活の拠点を移すこととなります。ここで里親制度について説明します。里親と聞けば養子縁組をすぐに思い浮かべられる方が多いと思いますが、里親はそれだけではありません。施設と同じようにその保護者の問題が解決されるまでの間だけ自宅を提供して児童を預かる養育里親と呼ばれる里親がいます。他には、親せきが世話する親族里親や経験を積んだ里親がなれる専門里親があります。その他には、現在施設で生活する児童に家庭生活を体験させる目的の週末里親という制度もあります。将来親となったときの良きモデルとして期待される里親制度です。

そもそも保護者と暮らせなくなる児童は聖徳太子の時代からいました。四天王寺に作られた四箇院のうちの悲田院は身寄りのない児童や高齢者を受け入れていた日本最古の福祉施設と言われています。このように日本では主として寺院や教会といった宗教施設が慈善事業として児童を預かり育てていましたが、第二次世界大戦後に戦争によって保護者を失った戦災孤児の養育は、戦争を起こした国に責任があるとされ、戦前から児童を養育していた慈善事業団体・民間施設に対して、児童の生活費と児童の世話をする職員の給料を国が保障することで、慈善事業が社会制度と形を変えて今日まで続いているのです。

さて、児童福祉の歴史をお伝えしたところで、清心寮で生活する児童の様子をお話しします。入所児童は本体施設が30名、地域小規模児童養護施設が6名の計36名定員です。本体施設の中に6名のユニットが5ユニットあります。

それぞれが独立した間取りになっていて、キッチン・ダイニング・リビングにバス・トイレ・洗面場が完備されています。幼児は違いますが、学童児童は全員個室です。児童の生活に係る費用、学校関係、医療費などはすべて公費で賄われます。最近では中学生に学習塾代もみてもらえるようになりました。以前は高校へ進学したくても公立高校のみと選択肢がありませんでしたが、大阪府独自の予算で授業料無償化なので、私立への進学も選べるようになりました。しかし、高校卒業後に専門学校や短大、4年生大学へと進学を希望する場合は、基本的には自分でアルバイトをして資金を貯めることとなります。それでも足りない部分については、各種奨学金や助成金を使わせてもらっています。今年度の高校3年生は全員が進学ですが、中には自活しながら進学する児童もいます。そのような場合にも堺市から自立のための準備金が支給され活用させてもらっています。保護者とやり取りができる児童については、家庭引き取りを目指していた頃と考え方が変わってきて、離れていても親子と感じあえる関係を目指すようになりました。今は、一緒に暮らすことだけが親子関係再構築ではないとされています。そのためにも面会や外出、あるいは自宅への一時帰宅（外泊）を段階的に進めたり、可能な限り運動会や授業参観といった学校行事に参加してもらったり、親子が関われる機会を保障しています。

最後に、国が施設に求めるものに「あたりまえ」「ふうつ」というキーワードがあります。一般家庭や里親家庭では養育者が変わらないので、「行ってらっしゃい」と「おかえりなさい」は同じ人が声掛けすることになりますが、施設は職員にとっては職場なので登校前と下校後の対応職員は変わります。それでもできるだけ工夫してユニットは家庭環境に近い間取りになっていますので、清心寮では夕方になると炊飯器の湯気から米が炊ける匂いが広がります。完全給食制の施設もあるので、米の炊ける匂いさえ匂えない状況も少なくありません。また、栄養士によって食材は1週間前から発注され管理されているので、「今晚何食べたい？」と言った臨機応変な食事にはなりません。ランチや出かけた帰りに外食ともなりません。いくら美味しくても施設では二日目のカレーは提供されません。ちょうど今は、中学生にスマホを持たせるか否

かを検討しているところです。色々と意見が分かれるところですが、「あたりまえ」「ふうつ」の角度から見るとリスクを心配しながらでも持たせる方向になりそうです。まだまだ、不十分な清心寮ですが「施設で生活していたから経験したことがない」といったことにならないように、これからも児童の権利擁護とあたりまえの生活を保障していきたいと思います。

## 会長の時間(3月13日)

会長 池永 隆昭



皆様こんにちは。3/13 会長の時間です。

3月になりました。年度末処理でお忙しい方々もいらっしゃると思います。弊社も12月末が決算で、決算処理他で慌ただしく過ごしておりました。

社長業をさせて頂いて20年になりますが、先代のおかげで楽をさせて頂き、全面的に会社をみるようになったのはここ数年です。

銀行折衝等だけでもまだまだだな、と思うことが多く、もっと高度な経営をされている先輩方をみると考えさせられる今日この頃です。

## 委員会報告(3月13日)

### 広報委員会

「ロータリーの友3月号ご紹介」

広報委員長 田口 隆



表紙

「日立塙山の春」日立RC・河島弘明氏

「自然の恵み豊かな富津市」富津中央RC・若鍋武良氏

### 【横組み】

#### P.5 水と衛生月間

「水マネジメントの現場 水を守る。地域をつなぐ。」

#### P.12 RI 会長エレクトインタビュー

「THE GAME CHANGER」

2026-27年度RI 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏

### 【縦組み】

## P.2 SPEECH

「南海トラフ巨大地震を乗り切る」

兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学  
研究科教授・木村玲欧氏の講演趣旨

## P.7 この人訪ねて

村田優子氏（人吉中央RC）

是非今月号もご一読ください。

## 幹事報告

### (1) 3月13日例会配布物

- ・週報 ・卓話資料
- ・ロータリーの友3月号

### (2) 例会変更のご案内

4月10日（金）は、夜間例会「ファイヤー  
サイドミーティング」へ変更いたします。

18:00～ 場所：割烹 魚忠

お間違いなきようお願いいたします。

## SAA報告(3月13日)

池永隆昭会員 池永です。

塩見 守会員 例会、行事、欠席ばかりで申し訳  
ございません。

嶽盛和三会員 清心寮 横山副施設長様、卓話よろ  
しくお願い致します。

鶴 啓之会員 やっぱり、すき焼きはカロリー高  
いけどうまいねえー

中田 学会員 横山様本日の卓話宜しくお願い致  
します。

合計22,000円

### ◆米山記念奨学会特別寄付

・・・濱口正義会員、嶽盛和三会員

### ◆ロータリー財団寄付・・・嶽盛和三会員

## その他

### ゴルフ同好会

世話人 北村 勝博



2026年3月21日、天野山カントリー  
クラブにて第116回北輪会ゴルフコン  
ペが開催されました。計7組のメンバ  
ーが集結し、ダブルペリア方式を一

部含む18ホールのレストランプレーにて競い合  
いました。全ショートホールのニヤピンやドラ  
コンも実施され、和やかな雰囲気の中で会員同  
士の親睦を深める貴重な機会となりました。  
優勝者は増田あすか様、2位 牧野信夫様、3位  
城岡陽志会員でした。



今回優勝の増田様



前回優勝の杉山会員

## 第9回 定例理事会

2025-26年度理事会構成メンバー

池永、嶽盛、北村、鶴、和田、奥原、中川、  
笹山、塩見、中田、綿谷、畑中

(会計監事：城岡)

日時 2026年2月6日（金）例会後

場所 南海グリル 東店 3F 「宴」

議案

- 2月度堺7RC連絡会について 一報告
- 堺観光コンベンション協会より賛助会員の依  
頼について  
・協賛しない 一承認
- フィリピン サンミゲルRC ミシンプロジェク  
ト進捗状況報告  
一北村国際奉仕副委員長より報告あり

## 2月度堺7RC連絡会 議事録

日時：2026年2月17日（火）14:30～

場所：堺商工会議所3F

ホスト：堺東RC

<議案> 特になし

<報告事項>

- ・2025-26年度 8分区ガバナー補佐交代の件  
新ガバナー補佐 間下 敦司 氏（堺中RC）
  - ・堺市の姉妹都市であるパークレー市より、交  
換留学生8名の内、2名の学生をロータリー  
クラブで受け入れ要請がありました。（高松前ガ  
バナー補佐）
- <ご案内> 互輪会の参加回答のお願い（堺中RC）



3月度会員奥様誕生日祝い代表 北村勝博会員



3月度結婚記念祝い 奥原史成会員



3月度皆出席表彰 笹山悦夫会員（第13回）

### 2026-27 年度会長メッセージ

## 「持続可能なインパクトを生み出そう」

オンラインカ・ハキーム・ババロラ  
2026-27 年度国際ロータリー会長  
(ナイジェリア/トランス・アマディRC)

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。そのビジョンを現実するには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」と述べています。



持続可能な  
インパクトを  
生み出そう



## 第2114回 2026年3月29日(日) 「春の親睦家族会」 旧堺港ウォーターフロントの魅力再発見 (クルーズとウォーキング)

親睦活動委員長 笹山 悦夫



令和8年3月29日の日曜日、春の家族例会は、親睦委員会と歩こう会の共催で「旧堺港ウォーターフロントの魅力再発見（クルーズとウォーキング）」という企画で行いました。身近だけれど、意外と知らない地元の魅力を再発見できた楽しい春の家族例会でした。

当日は、好天に恵まれ5月並みの暖かい気候。旧堺港周辺の環濠クルーズと大浜公園のお花見ウォーキング（約5キロ）には最適でした。参加者も25名（会員11名、ご家族12名、奨学生1名、事務局1名）となりました。南海本線堺駅西口に集合し、午前10時スタート。まず、オシャレな雰囲気に変貌した旧堺港ウォーターフロントと大浜公園を散策し、お昼は人気スポットとなっている「青いナポリUMIOBA」でランチ。旧堺港を一望する景色を満喫しながらイタリア料理とお酒を楽しみました。昼食後は、環濠クルーズとイルカ見学の2グループに分かれ、地元の魅力再発見を楽しみました。今回、環濠クルーズでは北側会員が特別水先案内人となり、自由都市堺の歴史や事跡、伝統・文化などわかりやすくガイドしていただきました。堺に造詣の深い北側会員のガイドに、参加者一同、地元堺の魅力を再発見（確認）した次第です。北側会員、ありがとうございます。また、お疲れさまでした。

イルカ見学では、お子様連れのご家族で楽しみました。目の前をスイスイと泳ぎ、プールに近づくと歓迎してくれているかのように大接近するイルカたちにお子様たちの目もキラキラに。時にはジャンプを披露してくれ、水しぶきがかかりましたが、それもキャーキャー言いながら楽しんでいました。





2026年3月29日(日)  
「春の親睦家族会」

